

丸森町林業振興ビジョン

概要版

～まるもり宝の山構想～



丸森町林業振興ビジョン発行にあたって

丸森町長 保科郷雄

令和元年東日本台風災害から、間もなく3年半が経過しようとしております。発災以降、国や県、全国の自治体をはじめ、多くの皆様から御支援と御協力を賜っていることに対しまして、感謝を申し上げます。

この台風災害は、町民の尊い命を奪うとともに、本町に甚大な被害をもたらした町政史上最悪の出来事でありました。同時に、自然の脅威と適切な森林管理の重要性を改めて思い知らされる契機ともなりました。

本町の林業は、長期的な木材価格の低迷や社会構造の変化、さらには平成23年3月に発生した東日本大震災にともなう原発事故により、衰退の一途を辿るとともに、所有者の森林への関心の低下をもたらし、森林荒廃が進む要因となっております。

この未曾有の台風災害を経験し、今一度森林管理のあり方を考えるとともに、今後の町の復旧・復興を見据え、町域の7割を占める豊富な森林資源を有効に活用し、町の活性化を図らなければならないと強く感じました。

このたび策定したビジョンは、「丸森を宝の山に そして次代へ」を基本理念として、森林の持つ機能や価値を高めつつ、広大な森林を私たちの宝として、50年後100年後につないでいくことを掲げております。そして、この実現のために、林業の成長産業化や、健全で持続可能な森林づくり、移住定住の促進と林業・木材産業を支える人材育成を推進し、町民の皆様が、森林がもたらす恵みや潤いを最大限に享受し、安全・安心に暮らせるまちづくりを進めてまいります。

最後に、本計画の策定にあたり、貴重な御意見、御提案をいただきました検討委員の皆様や関係者の皆様の御協力に対しまして、心より感謝を申し上げますとともに、この計画の実現に向けて、今後とも御支援、御協力を賜りますようお願いいたします。

策定の目的

本町の豊富な森林資源を有効に活用し、産業としての林業の再興を図るとともに、適切な森林管理によって、町民が将来にわたり、豊かな自然とともに安心して暮らせるまちづくりを進めるため、林業振興の目指すべき方向性をまとめた「丸森町林業振興ビジョン」を策定しました。

計画期間・計画の位置づけ

令和5年度～令和14年度（10年間）

「第五次丸森町総合計画」及び「丸森町復旧・復興計画」を基本とし、関連ある「みやぎ森と緑の県民条例基本計画」等との整合性を図るとともに、各種林業個別計画を踏まえ、森林所有者、林業事業者、林業関係機関・団体とともに連携して策定しております。



町産材を使用して整備した町営神明住宅



フェラーバンチャ（高性能林業機械）による作業の様子

令和5年3月
宮城県 丸森町

丸森町林業振興ビジョン

基本理念・基本方針

もり ～丸森を「宝(た)か(ら)」の山にそして次代へ～

- ① …森林の持つ多面的機能（ためんてききのう）が発揮される山
- ② …自然的・資産的・創造的な価値（かち）のある山
- ③ …人の笑顔（えがお・わらい）で満ちあふれる山

私たちは、身近にある森林に関心を寄せるとともに、森林の持つ機能や価値を高め、その恩恵によっていつまでも笑顔で暮らせるよう、この森林を私たちの“宝”として、50年後100年後の次代につないでまいります。

基本方針1 森林資源を活かした林業の成長産業化

基本方針2 健全で持続可能な森林づくりの推進

基本方針3 もり森林と暮らす移住・定住の促進と林業・木材産業を支える人材の育成

本町森林・林業の目指す姿

- 1 将来にわたって森林・林業を支える人材が確保されている。
- 2 町産材の需要が拡大し、有効に利用されている。
- 3 適切な森林整備が行われ、災害の発生防止など森林の持つ多面的機能が最大限に発揮されている。
- 4 町の宝である里山の保全や景観が維持されている。
- 5 町民が森林への関心を持ち、その重要性を認識している。

基本目標

No.	目標指標	R 3 (現況)	R 14 (目標)
1	林業従事者数 (人) ※森林組合職員含む	34	60
2	素材生産量 (m ³) [年間]	5,850	10,000
3	間伐実施面積 (ha) [年間]	33	100
4	植栽面積 (ha) [年間]	5	30
5	森林・林業イベント参加者数(人) [年間]	-	100

まるもり宝の山構想 (イメージ)



ン ～まるもり宝の山構想～

施策及び取組内容

基本方針1 森林資源を活かした林業の成長産業化

1 林業基盤の整備

本町の森林面積の87%が民有林（国有林以外）で、そのうち約5割は人工林が占めております。これらの人工林の大部分は本格的な利用期を迎えており、今後拡大が見込まれる森林伐採や伐採後の再造林を見据え、これを担う林業事業者の育成とともに、収益性の確保と適正な森林整備を可能とするため、林業基盤の整備を行います。

- (1) 競争力や独創性を持った元気な林業事業者の育成
- (2) 森林施業の低コスト化
- (3) 林内路網の整備



町有林の間伐の様子

2 町産材の安定供給と需要拡大

近年のウッドショックや国際情勢によって、国産材の需要が高まり、木材価格も上昇傾向にあります。町産材においても、こうした国産材需要を満たす品質の確保と安定的な供給を行うとともに、建築用材以外の用途の開拓により、町産材の需要拡大を図ります。

- (1) 良質な町産材の生産と安定供給
- (2) 公共施設等への町産材の積極的利用
- (3) 木製加工品の需要の掘り起こし
- (4) 広葉樹の利用拡大



町産木材の搬出の様子

3 森林資源を活用した価値の創造・再興

森林には木材の売却による収益確保以外にも、様々な価値や事業化の可能性を有しております。森林所有者や町民の所得向上を図るため、森林の持つ新たな価値に着目した事業化の可能性を検討します。

- (1) 木質バイオマス（発電・熱）事業化の推進
- (2) 里山を活かした観光資源化
- (3) 企業等と提携した新たな事業の展開
- (4) 特産林産物の振興

基本方針2 健全で持続可能な森林づくりの推進

1 資源の循環利用を通じた森林整備

「伐る・使う・植える・育てる」という森林サイクルを基本とした町有林・私有林の適正な整備を促進し、持続可能な森林経営につなげます。

- (1) 町民の財産である町有林の整備
- (2) 分取造林の適正管理
- (3) 森林経営管理制度による森林整備の促進
- (4) 私有林における持続可能な森林整備の推進

2 健全な森林をつくる適切な森林整備

水源涵養や土砂災害防止、生物多様性保全、保健・レクリエーション機能など森林の持つ多面的機能を最大限に発揮させるため、健全な森林づくりを推進します。

- (1) 自然豊かな里山の保全
- (2) 病虫害防除対策の実施
- (3) 放射能対策の実施
- (4) 緑化活動の推進

3 災害に強い町土の保全

町民が将来にわたって安全安心に暮らせるよう、災害を抑制する森林整備の推進や適正な森林開発・森林伐採の指導を行うとともに、令和元年東日本台風により甚大な被害を受けた地域での国・県と連携した治山対策の実施により、災害に強い町土を保全します。

- (1) 災害等を抑制するための取組
- (2) 開発行為等への指導と監視体制の整備
- (3) 令和元年東日本台風災害からの復旧・復興



竹林整備の様子



治山工事により復旧した廻倉地区

基本方針3 ^{もり} 森林と暮らす移住・定住の促進と林業・木材産業を支える人材の育成

1 ^{もり} 森林づくりを通じた移住・定住の促進

森林・林業関連の就業機会の創出と新規就業者の育成を図るとともに、住まいの提供などにより、本町への移住・定住を促進します。

- (1) 森林・林業関連の就業機会の創出と新規就業者の育成
- (2) 森林と暮らす住まいの提供

2 ^{もり} 森林づくりを担う多様な人材の確保

森林・林業に携わる人材が不足する中、新規就業者の確保に加え、人材の掘り起こしと町民や企業の参画を促し、森林づくりを担う多様な人材を確保します。

- (1) 森林・林業に携わる人材の掘り起こし
- (2) 町民や企業の参画による森林づくり

3 森林・林業に対する町民理解の醸成

森林所有者の自己所有森林への関心を高める取組や、子どもたちへの木育の推進などにより、森林・林業に対する町民理解の醸成に努めます。

- (1) 森林所有者の森林に対する関心度の向上
- (2) 未来を担う子どもたちへの木育の推進



地域の緑化活動

◆重点プロジェクト1 ～地球にやさしい持続可能なエネルギーづくりプロジェクト～

木材のエネルギー利用は、大気中の二酸化炭素濃度に影響を与えない「カーボンニュートラル」な特性を有しており、化石燃料の使用を抑制することができます。本町においても、「カーボンニュートラル」の取組を進めることや、これまで山林に放置されていた未利用間伐材などを有効に活用するため、これらを燃料とした地球にやさしい持続可能なエネルギーである「木質バイオマス（発電・熱）」の取組を関連企業や木材事業者と連携するなどして推進してまいります。



視察先：静岡県小山町 ジャストワン富士小山ホテルに併設された「木質バイオマス発電所」

◆重点プロジェクト2 ～木とふれ合う遊びの場づくりプロジェクト～



視察先：山形県高島町 旧中学校体育館を改装した子育て支援施設「もっくる」

将来の森林づくりを担う子どもたちの森林や木に対する関心を高めるためには、幼少期から木と親しむ機会が必要です。また、子育て世帯が充実した子育てができるようにするためにも、町産材をふんだんに活用した遊び場の設置が有効と考えます。こうしたことから、保育施設等への木製遊具の設置や、木とふれ合うことができる子育て支援施設等の整備について、検討してまいります。

◆重点プロジェクト3 ～学びの森林づくりプロジェクト～

子どもたちの森林に対する理解の醸成や、「生きる力」を育むために、森林インストラクター等を養成し、町内の子どもたちが実際に林業を体験できる機会の提供や、森林の役割と動植物の生態系などを学べる森林教育を小学校との連携により、実施してまいります。また、交流人口の拡大を図るため、これらの取組をパッケージにした「森林・林業体験プログラム」により、都市部の子どもたちを対象とした教育旅行等の受入事業を推進してまいります。さらには、森林の中でのアウトドア活動ができる施設等の整備についても、検討してまいります。



丸森小学校での森林教室の様子

□SDGsとの関連性

丸森町林業振興ビジョンでは、持続可能な開発目標（SDGs/エスディーゼズ）の精神に基づき、目標達成を目指すことを盛り込んでいます。

